

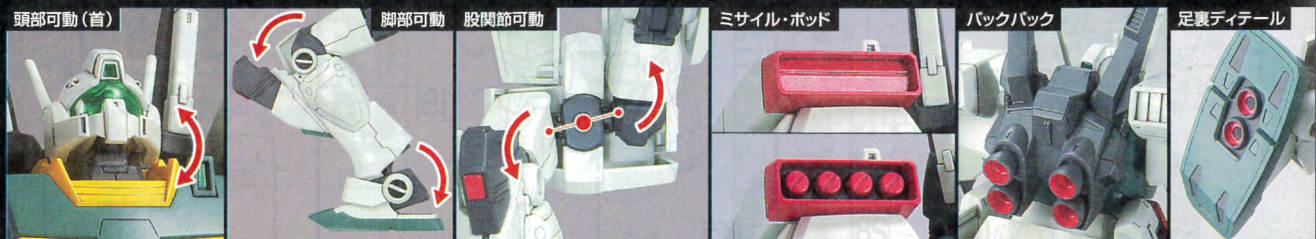
RGM-86R GM II

E.F.S.F. MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : RGM-86R
 HEIGHT : 18.0m
 WEIGHT : 38.6t
 TOTAL WEIGHT : 56.2t
 GENERATOR OUTPUT : 1,560kw
 THRUSTERS TOTAL
 PROPULSION : 81,200kg
 MATERIAL :
 TITANIUM ALLOY AND
 CERAMICS COMPOSITE
 (GUNDARIUM ALLOY SOME USE)
 ARMAMENTS :
 60mm VULCAN GUN
 BEAM RIFLE
 BEAM SABER
 SHIELD
 MISSILE POD
 LARGE MISSILE LAUNCHER



DETAIL



ディテール

RGM-86R ジムⅢ
 RGM-86R ジムⅢは、TV作品「機動戦士ガンダムZZ」および劇場用作品「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」、「機動戦士ガンダムUC」などに登場する量産型MSである。U.C.0088年2月29日、ジオン再興を宣言したアクシズは「ネオ・ジオン」を標榜し、各サイドに制圧部隊を派遣する。同年8月1日には遂に地球へと侵攻し、29日までに地球連邦政府の中央議会があるアフリカ大陸西岸の都市ダカールを占拠した。アーガマは、カラバと連携してダカールに駐留するネオ・ジオンを挟撃すべく、「ガンダムチーム」を別働の遊撃部隊として出撃させる。ネオ・ジオンは、31日に連邦政府の中核たるダカールにミネバ・ザビを入城させ、その権勢と正当性を誇示すべく大々的なレイドを催す。ガンダムチームは夜を待ってダカールに奇襲を仕掛け、ジュードはグレミーに捕らわれたリナを奪還すべく迎賓館に潜入。ZZを欠いたガンダムチームは、陽動のためメガライターのメガ粒子砲で牽制しつつ、Z、百式、Mk-IIでネオ・ジオンのMS部隊と交戦する。その混乱のさなか、カラバの援軍が到着。ハヤト・コバヤシが指揮するガルダ級の超大型輸送機アウドムラからは、ドタイプ改に騎乗したジムⅢが続々と出撃する。折しもオウギュストのドライセン部隊の増援によってガンダムチームが苦戦を強いられていたところであった。「新手はここで食い止める!!」ダカールの市街に降り立ったジムⅢ部隊は、隊長の命令下、ジュード救出に向かうガンダムチームから戦闘を引き継ぐ。戦闘は市街地と沿岸部の双方で激しさを増して行った……。



●写真はイメージです。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご確認ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●胸部等: ブルー(40%) +イエローグリーン(30%) +スカイブルー(30%)	●本体等: ホワイト(100%) +イエローグリーン(少量) +グレー(極少量)	●胸部ダクト等: オレンジイエロー(60%) +イエロー(40%) +ホワイト(少量)	●シールド等: モンザレッド(90%) +ワインレッド(10%) +ホワイト(極少量)
●ビーム・ライフル等: グレー(70%) +ネービーブルー(30%)	●センサー等(下地): シルバー(100%)	●センサー等(上塗): クリアグリーン(100%) +クリアブルー(少量)	●ライフル部センサー(上塗): クリアオレンジ(100%)



1/144 SCALE
HG
 UNIVERSAL CENTURY

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
 バンダイホビーサイト▶ www.bandai-hobby.net/



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所がありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・切り取る時	・シールの番号	・テカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る時	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ

(スチロール樹脂: PS)

Bパーツ

(スチロール樹脂: PS)

C1パーツ

(スチロール樹脂: PS)

C2パーツ

(スチロール樹脂: PS)

Dパーツ

(スチロール樹脂: PS)

MP-1Eパーツ

(スチロール樹脂: PS)

SB6パーツ

(スチロール樹脂: PS)

<PC-001A>

(ポリエチレン: PE)

●シール……………1
●マーキングシール…1

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

1

※穴のある方

※PC4が斜めにならないよう注意してはめ込んでください。

2

向きをかえます。

※シールは先に貼ります。

※きれいに切り取ります。

3

＜組み付け位置＞

4

5

＜向きに注意して両側に取り付ける＞

6

×2 (2個作る)

バチン

7

※きれいに切り取ります。

＜組み付け位置＞

＜向きに注意して反対側に取り付ける＞

8

※きれいに切り取ります。

※ここを押さえないように注意

＜向きに注意して両側に取り付ける＞

9

※きれいに切り取ります。

※ここを押さえないように注意

＜向きに注意して両側に取り付ける＞

10

×2 (2個作る)

12

＜向きに注意＞

13

＜向きに注意＞

14

＜向きに注意＞

15

MP-1 6

MP-1 1

MP-1 2

MP-1 4

MP-1 7

＜向きに注意＞

MP-1 9

MP-1 10

MP-1 11

MP-1 12

MP-1 13

MP-1 14

MP-1 15

MP-1 16

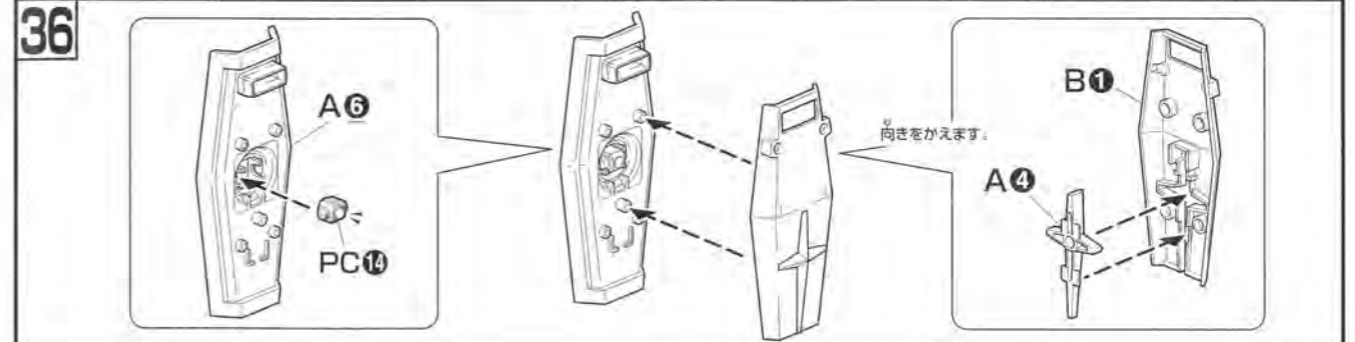
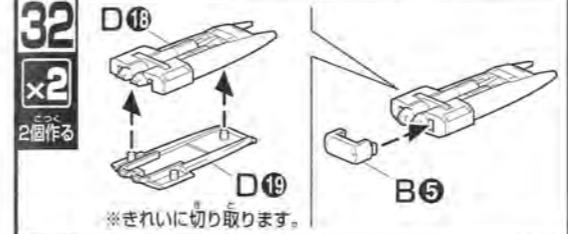
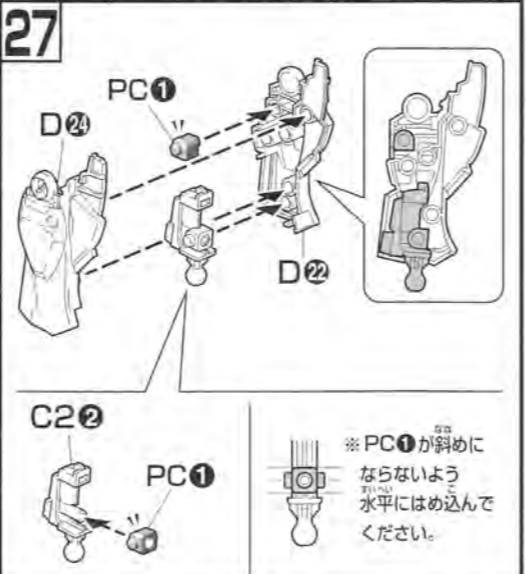
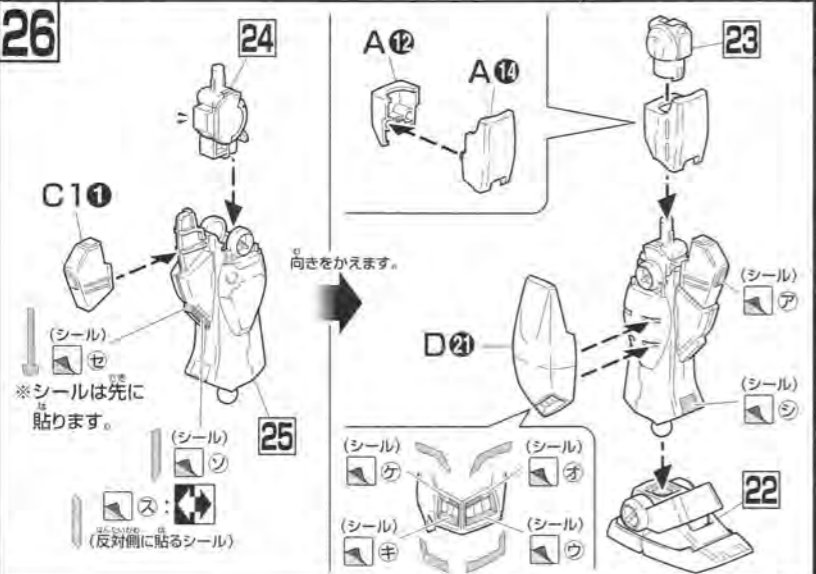
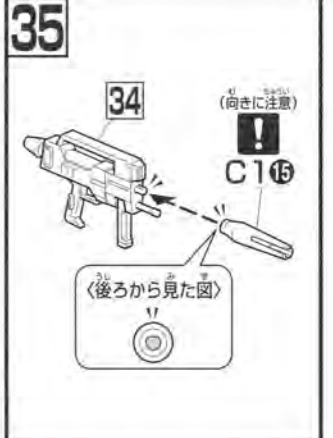
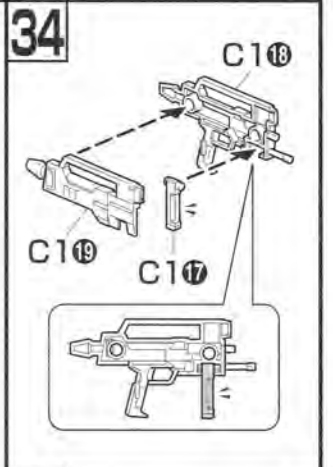
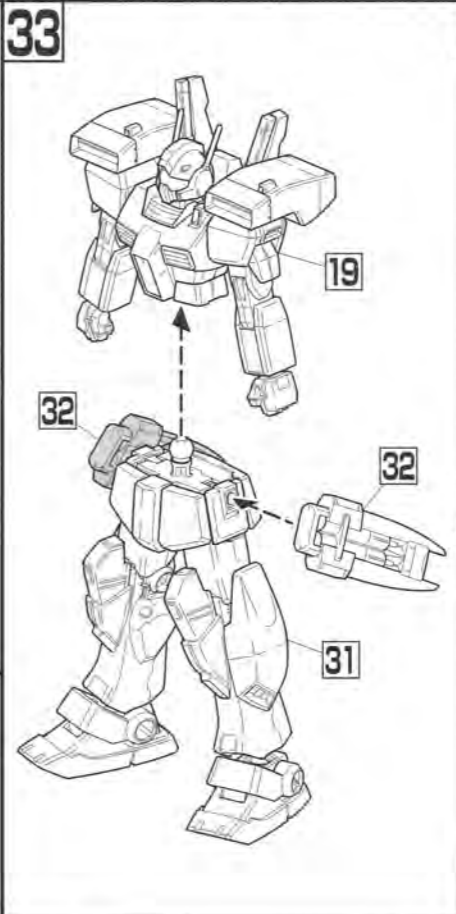
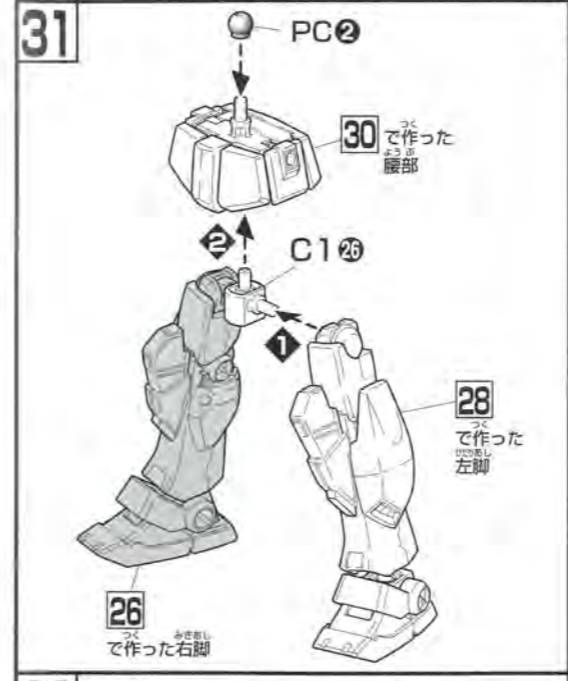
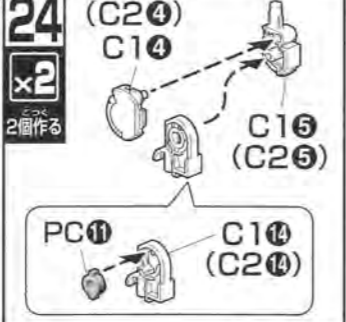
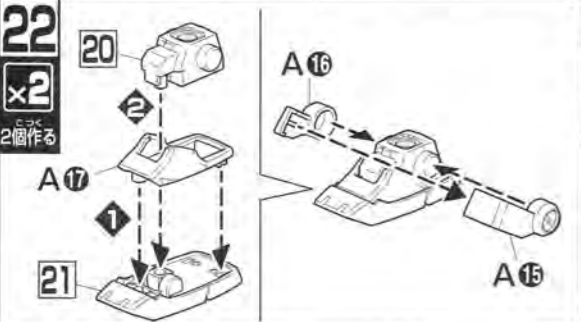
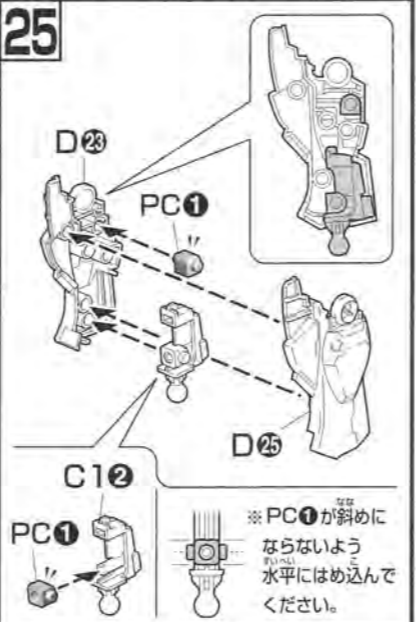
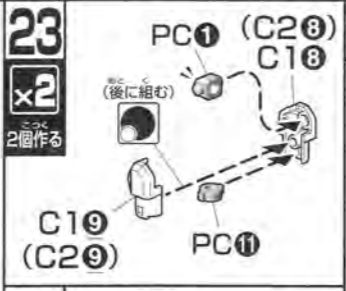
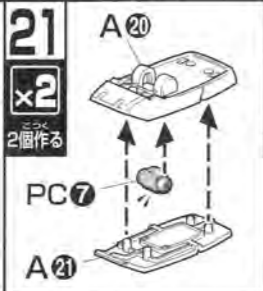
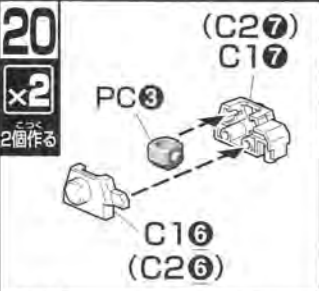
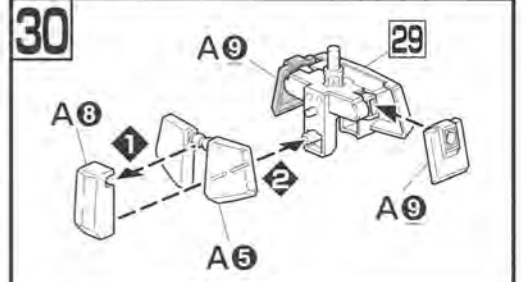
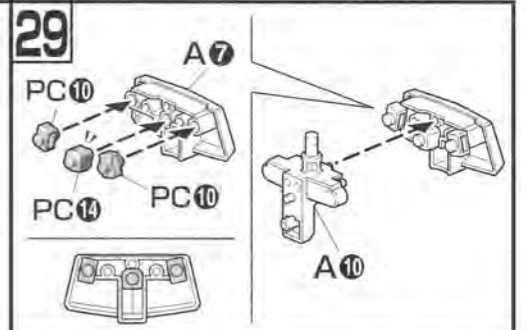
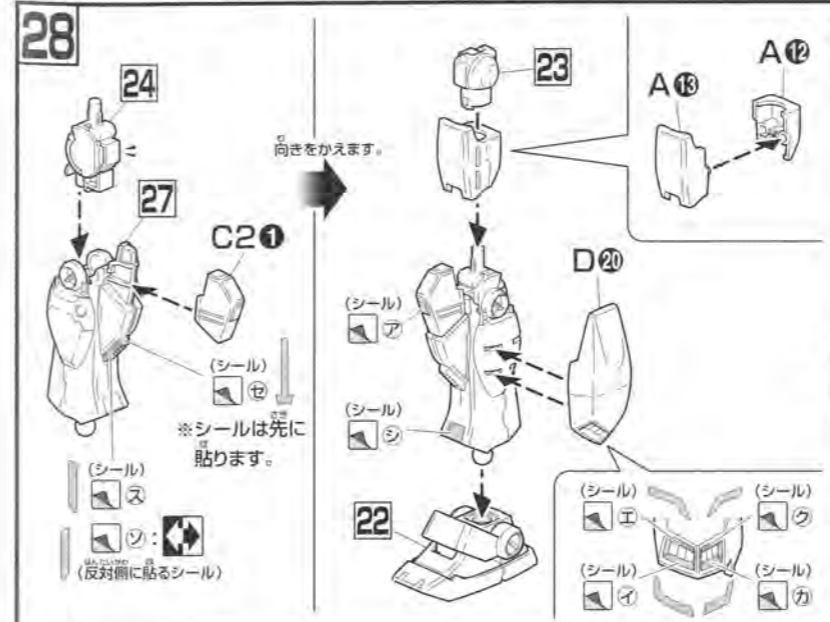
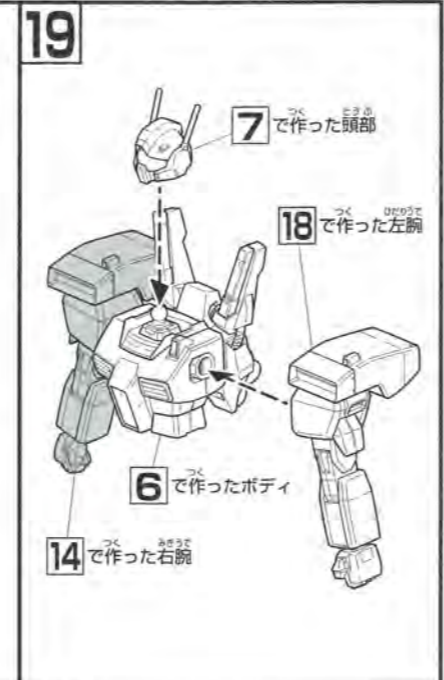
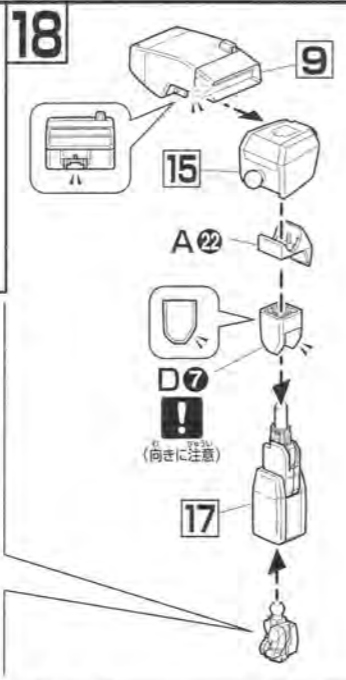
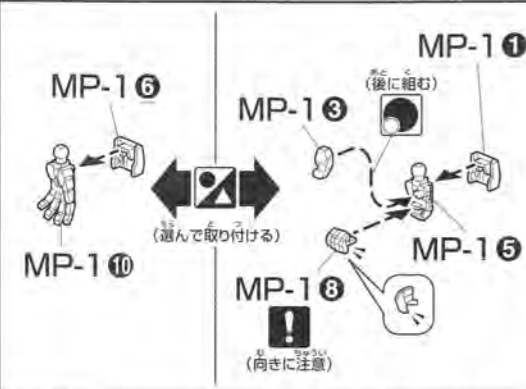
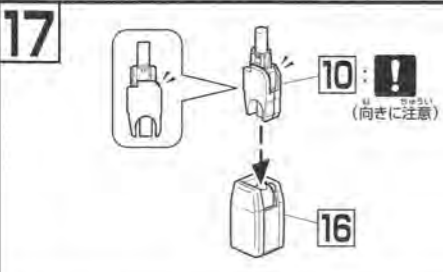
＜向きに注意＞

MP-1 17

MP-1 18

MP-1 19

MP-1 20



RGM-86R GMⅢ

「ジムⅢ(スリー)」は地球連邦軍が開発したジムの発展型で、一年戦争後期に生産されたジムと、そのマイナーチェンジともいえるジムⅡを経て新設計された機体である。いわゆる「第一次ネオ・ジオン戦争」期に生産された連邦軍唯一の「主力量産機」となる。生産性を維持しつつ、新技術を積極的に取り入れる事で、ある側面ではガンダムMk-IIに勝るとも劣らないパフォーマンスを獲得している。実際にバックパックはMk-IIとほぼ同機能のユニットが採用されており、サーベルユニットも2基装備している。無論、白兵戦など近接戦闘にも高いレベルで対応可能であり、機動性、運動性共に既存の量産機を上回る水準を達成している。携行兵装のビーム・ライフルやシールドなども改良され、威力や耐傷性が向上している。また、オプション兵装のラインナップも充実しており、肩部のミサイル・ポッドや腰部

のミサイル・ランチャーなど、中、長距離支援用の機体としても十分な発展性を兼ね備えている。これらの兵装は戦術によって仕様の異なる装備も用意されており、装備数や射程、センサーや追尾機能など、環境や戦況によってそれぞれ換装が可能である。生産拠点多重存在していたが、生産数の調整や装備の更新などが頻繁に実施されたため、大々的に量産されることはなかったとされている。それでも、グリプス戦役終結以降の不安定な情勢下において、U.C.0090年代まで絶妙な需給バランスを維持していた。新設計の機体ではあるが、各ユニットの規格はジムを基本としていたため、スペックはともかく「寸法」だけは旧型機と同じであるケースもあり、ジェネレーターの乗せ替えやパーツの追加、コクピットの換装なども可能であった。時期によっては緊急避難的にジムⅡなどからの改裝機も存在したとする資料もある。ジムⅢは、俗にRGM-89 ジェガンが普及するまでの繋ぎの機体と評されることも多いが、90年代後半まで第一線で稼働し続けた素性の良さや、近代化改修のノウハウ構築などを鑑みるまでもなく、連邦系量産型MSの集大成とも言える本機が存在が無ければ、ジェガンの成功もなかったであろうことは言うまでもない。

ミサイル・ポッド

中型ミサイルを各4連で装備するミサイル・ポッド。最初期の標準装備であるため、便宜上「ノーマル・ミサイル・ポッド」と呼ばれる。一基あたり15×2発のマイクロ・ミサイルを装備するユニットは「オプション・ミサイル・ポッド」と呼ばれる。

ビーム・ライフル

ジムⅡが標準装備としていたユニットの更新兵装。生産コストや形状はほぼ同じだが、出力は50%ほど向上している。ただし、使い勝手は改善されておらず、継戦能力に課題を残したままであった。

ビーム・サーベル

新撃用のエネルギー兵器。プラズマ状のビームを形成して対象を溶断する。形状はバックパック同様ガンダムMk-IIを参考としているが、ビームの発振ユニットは標準的な量産品を採用している。

シールド

主に実弾弾などに対して有効な防御装備。「ガンダム」用の設計を踏襲した量産品だが、耐ビームコーティング剤の改善や軽量化など、単品としてのスペックはむしろ向上している。

バックパック

ガンダムMk-IIのバックパックを量産化したもの。形状は多少異なるが、コストパフォーマンスはむしろ向上している。GディフェンサーなどMk-II用大規模オプションの装備も可能なよう設計されていたが、実装した例は無いとされている。

大型ミサイル・ランチャー

2連装の大型ミサイル・ランチャー・ユニット。ネオ・ジオンの重MSに対応した特殊な弾体形状を持ち、ミサイル自体の機動性を向上させた「大型高性能ミサイル」を装備している。左右の腰部への装着がデフォルトだが、対応するジョイントやコネクタを使用すれば別の部位にも装備可能。

SPEC
 型式番号: RGM-86R
 頭頂高: 18.0m
 本体重量: 38.6t
 全備重量: 56.2t
 ジェネレーター出力: 1,560kw
 スラスター総推力: 81,200kg
 装甲材質:
 チタン合金セラミック複合材
 (一部ガンダリウム合金を使用)
 武装: 頭部60mmバルカン
 ビーム・ライフル/ビーム・サーベル
 シールド/ミサイル・ポッド
 大型ミサイル・ランチャー

※この商品には、「HGUC ジムⅢ」が1セット入っています。
 ●写真はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

ジムⅢに繋がる量産機の進化を確認せよ!!

HGUC No.020 ジム
RX-78の基本構造に基づいて再設計された機体。

HGUC No.113 ジム改
データ収集機などとして、後の連邦系MSの礎となった機体。

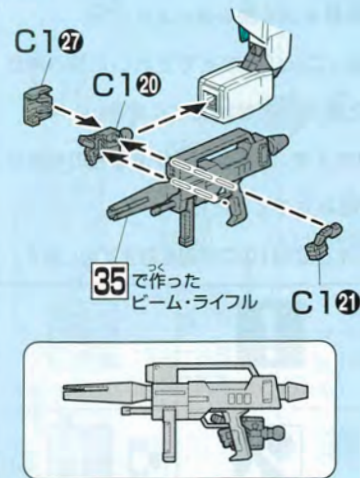
HGUC No.126 ジムⅢ
「第一次ネオ・ジオン戦争」期の連邦軍の主力量産機。

HGUC No.097 ジェガン
U.C.(宇宙世紀)0089年に制式採用された新世代の連邦軍主力MS。

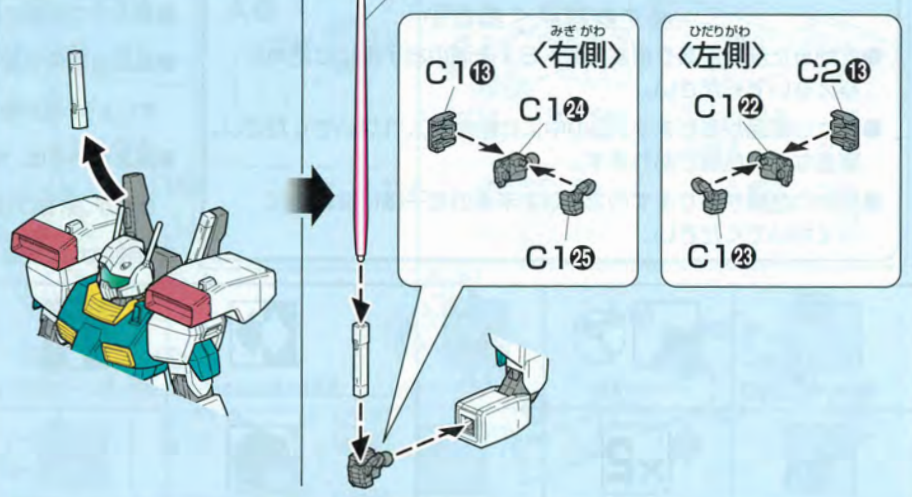
HGUC No.104 スタークジェガン
ジェガンにミサイル・ポッドなどの追加装備を施した強化仕様機。

HGUC No.123 ジェガン(エコース仕様)
追加センサーと胸部増設装甲が施された特殊部隊用MS。

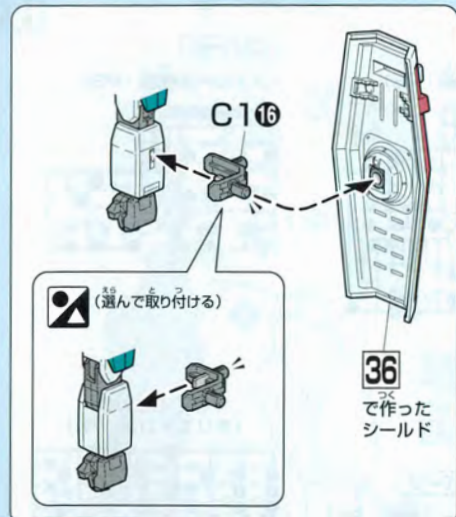
37 ※手首は外しておきます。



38 ※手首は外しておきます。



39

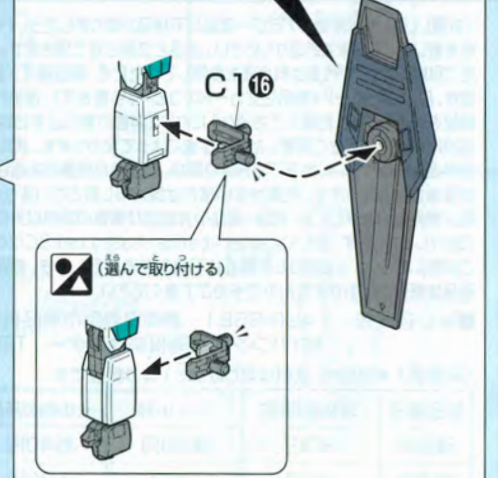


40

※HGUC ジェガン(エコース仕様)(別売り)、またはHGUC ジェガン(別売り)のシールドを取り付けることができます。



HGUC ジェガン(エコース仕様)(別売り)のシールド



●「機動戦士ガンダムUC」第2話に登場したジムⅢ